

新幹線プレス

2019年5月27日 | No.423

発行者 杉澤秀則

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

N700系! ノッチオフで加速!?

4月29日、のぞみ1号（JR東海所属N700系、X54編成）は、小倉～博多間走行中に、運転台モニターに「伝送不良」のポップアップ表示があり、運転士が平坦な区間でノッチオフして惰行運転したところ、速度が115K/hから118K/hに上昇したという。その後、博多総合車両所内で、ノッチオフ・ブレーキ緩解の状態でも0K/hから17K/hに上昇したという事象が発生した。

JR東海では何も語らないのはなぜだ?!

JR西日本会社は組合に対して、「2号車の主変換装置に不具合があり、東海においてメーカーと調査中である」と説明している。そして、「ノッチオフするも力行状態が継続となった場合の取り扱い」について関係社員へ周知しているという。

しかし、同じ車両を運用しているにも拘らずJR東海では、運転士にも検修員にも何も伝えていません。

このような事象は前代未聞で「重大インシデント」にもなり得るものです。

新幹線地本は事実を解明し、原因究明と対策について会社にしっかり求めていきます。